

明治、大正、昭和の時代の開拓を学びました

4月24日（日）「たかす開拓記念館」が開館



たかす開拓記念館の開館セレモニー

す。「大変見応えのある展示物なので、今度また、ゆっくり来ます」とも言つていただきました。

「開拓記念館」設立の経緯

たかす町民センターで行われ、関係者約100人のみなさんにお越しいただきました。な

昭和58年から平成11年にかけ旧高鷲村では、民具などの生活用具の収集が積極的に行われました。当時、高鷲文化財保護協会のみなさんにより、一般家庭に眠っていた生活道具や昔ながらの農機具などを民俗資料として後世に残そうという機運が高まり、数多くの民具が旧高鷲村教育委員会に保存されました。

お、明治時代に旧高鷲村から多くの開拓移住者を送りだした北海道下川町から町長、議長さん5月の連休には、土日祝日も特別に開館し、4月25日（月）から5月8日（日）の2週間で、400人以上の人々が来館いたしましたが地元はもとより、遠くは名古屋、岐阜方面からも訪れていただきました。

来館者の多くは、60代から80代のみなさんです。実際に戦争や満州開拓を体験された人もみえ、ご高齢のため、車イスで来館される人や杖をつきながら、ゆっくりと館内を見学される人もいます。館内見学を終えたみなさんが、まず口にされるのは「来てよかったです」という言葉で

昭和58年から平成11年にかけ旧高鷲村では、民具などの生活用具の収集が積極的に行われました。当時、高鷲文化財保護協会のみなさんにより、一般家庭に眠っていた生活道具や昔ながらの農機具などを民俗資料として後世に残そうという機運が高まり、数多くの民具が旧高鷲村教育委員会に保存されました。

幾度となく「高鷲に資料館を作ろう」「収集した民具などの生活用具を展示できる建物を作ろう」という声が上がりましたが実現には至りませんでした。その後、教育委員会の建物取り壊しのため、収集された民具などは、高鷲町鷲見地区にある旧鷲見分校の校舎へ移されました。

開館日時について

午後4時30分まで開館しています
月～金曜日の午前9時30分～入館料無料
なまくら館（土・日・祝日に前までに予約をしてください）
72・6321

1・1m²の空間

分合させて42図書館部分と2階ギャラリー部

かす町民センター内に、1階旧

なく、戦後ひるがの、上野、明野

未来へとつながる歴史を感じてい

ただけるのではないか。どうか。

たかす開拓記念館（たかす

入植事業を取り上げることで、

満州開拓を通して、戦争や当

時の悲惨な様子を伝えるだけで

なく、戦後ひるがの、上野、明野

など各所で行われた大規模開拓

名前が刻まれた銘板も展示され

ています。館内には様々な工夫

がされ、ひるがの開拓当時の暮ら

が成しました。

完成した「開拓記念館」



『追憶 琦春高鷲開拓』の紹介（高鷲町文化財保護協会発行）

「たかす開拓記念館」開館記念として、高鷲町文化財保護協会では、郡上市からの助成金を受けて『追憶 琦春高鷲開拓』を1,000部発行しました。開拓団の元団長であった麥島逸三氏が昭和50年に編集された『琦春』という単行本を基礎資料としています。ここには23人の証言者からの貴重な語りをはじめ、巻末には参考資料として高鷲村開拓関係年表や琦春高鷲開拓団員死亡者一覧等も編集されています。入植以来、終戦から引き揚げまで筆舌尽くせぬ苦痛の道を歩まれ、悲惨な運命に翻弄された開拓の人々を追憶し、琦春開拓の事実を若い人に残すため、当時の記録を再度編集され発行されたものです。

なお、たかす開拓記念館に来館された人で希望者には、本冊子を差し上げています。お問い合わせは当館受付まで。

※問い合わせ先…たかす開拓記念館（たかす町民センター内）☎72-6321